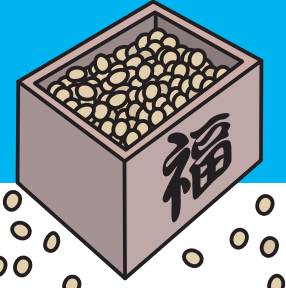




ノリタケ新聞



VOL. 70
09年
02月

今月の
特集

「糖尿病疑い」
が二千万人越え

厚生労働省 「2007年国民健康・栄養調査」

「糖尿病の可能性を否定できない」成人はさらに増加して2210万人と推計されることが上記の調査で判明しました。(2006年に比べて340万人の大幅増)
1997年から10年間でその数は1.6倍に増加し、成人の5人に1人以上が該当するとの結果です！日本人の生活習慣病の危険が急速に進行している実態が浮き彫りになっているといえそうですね！！

「糖尿病が強く疑われる人」が890万人

HbA1cが6.1%以上の人を「糖尿病が強く疑われる」としていますが、その数は890万人で前年に比べて70万人、10年前に比べると200万人も増えています。

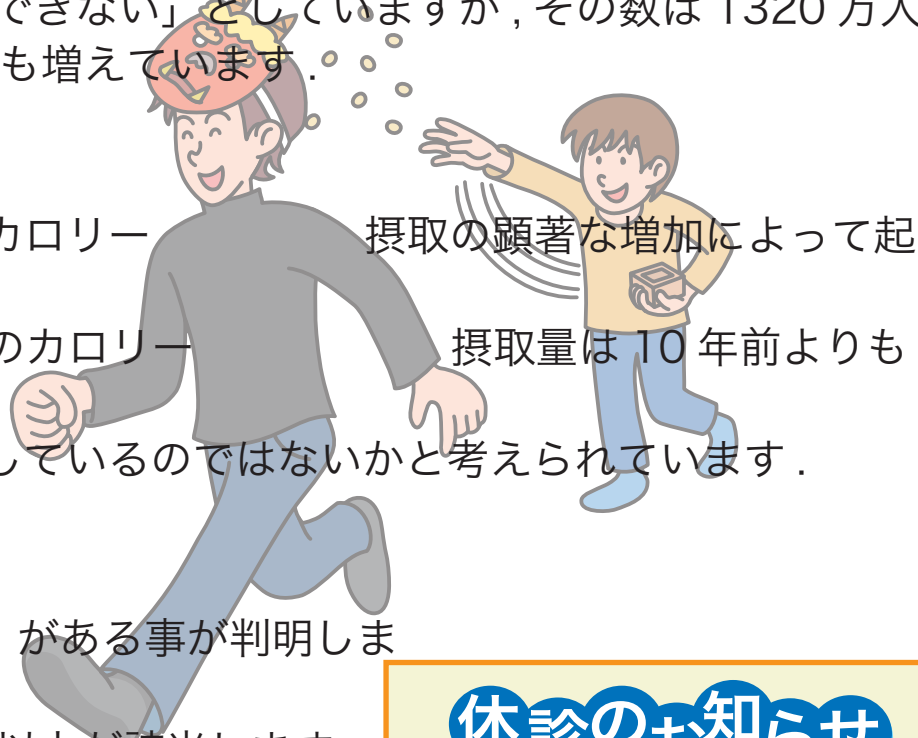
「糖尿病の可能性を否定できない人」が1320万人

HbA1cが5.6～6.1%の人を「糖尿病の可能性を否定できない」としていますが、その数は1320万人で前年に比べて270万人、10年前に比べると640万人も増えています。

日本人の摂取カロリーは減少傾向！

このような日本人の糖尿病およびその予備軍の増加はカロリーこってきているのではなさそうです。

厚生労働省生活習慣病対策室の見解でも日本人の最近のカロリー摂取量は10年前よりもむしろ減少傾向にあるとしており、運動不足やバランスの悪い食生活（動物性脂肪の増加など）が関連しているのではないかと考えられています。

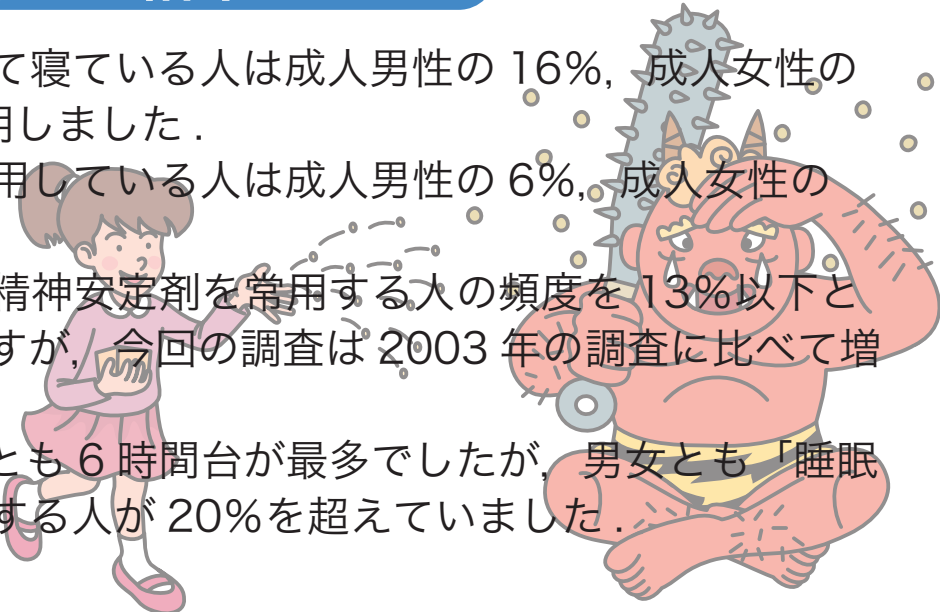


「糖尿病の疑い」がある人の頻度

- 成人男性の29%、成人女性の23%が「糖尿病の疑い」がある事が判明しました。
- 40歳台の15%、50歳台の27%、60歳台以上の30%以上が該当します。
- これらの人のうち、実際に治療を受けているのはわずか約5%程度と考えら

「睡眠」に関する調査の結果

- 睡眠時に酒の助けを借りて寝ている人は成人男性の16%、成人女性の6%に達していることが判明しました。
- 睡眠時に精神安定剤を服用している人は成人男性の6%、成人女性の12%でした。
- 「健康日本21」では酒や精神安定剤を常用する人の頻度を13%以下とすることを目標としていますが、今回の調査は2003年の調査に比べて増加傾向を示しています。
- 1日平均睡眠時間は男女とも6時間台が最多でしたが、男女とも「睡眠時間を十分に取れない」とする人が20%を超えていました。



院内行事と健康などに関するニュース

【待合室での咳エチケット】

咳やくしゃみには多くの病原体が含まれています。周りの人に移して感染を広げないように、また周りの人からうつされないように、病院の待合室ではマスクをする習慣をつけましょう。インフルエンザが猛威を振るっています。「咳エチケット」(マスクの習慣)をお願いします。

【ダイアレディースの会】

2月はお休みします。(次回の予定はスタッフにお問い合わせください)



休診のお知らせ

ご迷惑をおかけしますが
2/20(金)～2/21(土)は
学会のため休診
3/21(土)は
都合により休診
とさせていただきます
ご了承ください

2月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

今年の冬は結構寒いですね。暖冬が続いていましたが、冬らしい寒さもたまには良いものです。1月は風邪とインフルエンザが当地区でも大変流行しました。気をつけてなるべく体を動かしましょう。

